西宮自然保護協会 / Nishinomiya Nature Conservation Organization

協会だより

第４号　2017年８月発行
西宮自然保護協会
mail：sxmm27582@iris.eonet.ne.jp
HP：http://nisinomiyasizen.jimdo.com/

暑い日が続いておりますがお変わりありませんか。第４号をお届けします。夏から秋にかけての行事を中心に掲載していますのでご覧になってぜひ参加してください。

8～11 月行事の見どころ

サギソウ

●8月１９日（土）　昆陽池のオニバスと伊丹氏昆虫館の見学

伊丹市には多くのため池があります。その１つの昆陽池は公園として整備されていて、野鳥観察や昆虫館で知られています。池の一角には貴重なオニバスが保護されています。オニバスはこの時期に花を咲かせますので、その花を見に行きましょう。その後、冷房されている昆陽池センターに戻って昼食。午後は昆虫館に移動します。館内の展示だけでなく、温室で１年中チョウが飛びかうために、飼育、研究されているバックヤードの見学もさせてもらいます。暑い夏、少しでも涼しく学びましょう。なお、昆虫館は温室改修のため今年９月１日から来年３月31 日までは休館となります。

昆虫館

オニバス・花

●9 月 23 日（土）　京都市洛西竹林公園をたずねる観察会

今回は少し京都方面に遠出して普段あまり見られない竹の種類を見ます。阪急京都線「洛西口駅」で下車し、西に約2㎞歩く途中、道沿いでヒガンバナ・ボントクタデ・フヨウ・タマスダレの花やコムラサキの実が見られるでしょう。竹林公園は「京たけのこの産地」の歴史を後世に残すために 1981 年に開園し3.5ha あります。公園入り口までの竹の小径には「かぐや垣」「竹穂垣」などがあり興味深く散策ができます。公園内には亀甲竹など約 110 種がある生態園や、モウソウチクの図面角竹などが展示してある竹の資料館、石仏群などがあります。帰路には 794 年に平安遷都をした桓武天皇の皇后陵を見ることができる約5㎞のコースです。

上：竹の小径　下：資料館

フヨウ

亀甲竹

●１０月１５日（日）県立淡路景観園芸学校・県立淡路夢舞台温室（奇跡の星の植物館）を訪ねるバスツアー、たっぷりの花を楽しみましょう

人気のバスツアーです。今年は淡路島に行き、午前中は淡路景観園芸学校に行きます。学校の近くにある圃場整備されていない水田と、その周辺の自然を澤田先生に解説していただきます。学校に戻り、学校の自然風花壇などをボランティアの方の案内で見学します。その後あわじ花さじきで一面に咲くコスモスやサルビアを鑑賞しながらのお弁当の昼食です。お腹がいっぱいになったら奇跡の星の植物館に移動します。植物館では、館内の展示と、この時期に開かれている特別展・秋のローズガーデンショウを見学します。そして、淡路サービスエリア(オアシス)に寄り、ショッピング・休憩した後、帰路につきます。

水田
ワレモコウ(上)
ミクリ(左上)
ツリガネニンジン(左下)

花さじき

奇跡の星の植物館内

●11 月 12 日（日）　秋の北山緑化植物園から甲山へ観察会

暦の上では立冬を過ぎる頃、サクラやコナラなどの落葉樹が少し色づきはじめているでしょうか。西宮のシンボル「魅惑（みわく）309mの山」甲山を目指し、秋の自然を見つけながら歩いてみたいと思います。コースは阪急苦楽園口駅から夙川に沿って銀水橋～北山緑化植物園（昼食）～北山貯水池～甲山森林公園観察池を通り甲山山頂へと登り、神呪寺方面へと下ります（帰路は甲山大師から阪神バスの予定）。山道約６キロのコースです。アキノキリンソウ・ヤクシソウ・コウヤボウキなどの草花や、ヤブムラサキ・ソヨゴなど色とりどりの木の実が見ごろです。皆で観察してみましょう。

コウヤボウキ

アキノキリンソウ

ウメモドキ

ヤブムラサキ

【７月行事報告】

７月２２日は夏休みに入っての子供向け行事、夙川での生きもの観察会を行い、尼崎からのグループも合流し90 人超と大所帯でした。

班に分かれ皆さん楽しく採集・観察の後、採集した生きものを持ちより名前調べや解説をしました。約 60cm もあるコウガイビルの仲間も採れ楽しいひと時を過ごせたようです。生きもの 30 種確認。